

# 言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (呉市立昭和北小学校)

- ① 教科等 家庭科    ② 学年 第6学年
- ③ 題材名 衣服を整えよう
- ④ 本時の目標 衣服の働きや着方に関心を持ち、目的に合った着方について考えようとする。
- ⑤ 学習の流れ (1, 2時間目/全6時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 学習課題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の中にどんな衣服があるのかを見付けさせながら、衣服の働きに関心をもたせる。</li> </ul>	
衣服にはどんな働きがあるだろう。		
2 衣服を着る目的を話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の中で「どんな時に、どんな衣服を着るか」を話し合わせることで、衣服を着ることには目的があることに気付かせる。</li> </ul>	
<b>3 グループで課題を設定し、目的に合った着方を考える。</b> A 夏に、涼しい着方 B 冬に、暖かい着方 C 給食の時に、衛生的な着方 D 運動時に、活動しやすい着方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2グループずつ課題を変えることで、発表への意欲を高める。</li> <li>・自分の考えをもたせるために、はじめに一人ずつワークシートに絵と言葉で説明をかかせる。</li> <li>・グループ内で話し合いながら、1枚の画用紙に絵と言葉で説明を書き、色を塗って分かりやすく表現させる。衛生面においては服の色にも着目させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服の働きや着方に関心を持ち、生活を振り返りながら目的に合った着方を考えようとしている。</li> </ul> [家庭生活への関心・意欲・態度] (ワークシートの記述・発言)
4 発表する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵と対応させて通気性・保温性・伸縮性・吸水性等の言葉を児童から引き出すようにし、生活の中の衣服に関する言葉の幅が広がるようにする。</li> </ul>	
5 学習のまとめをし、次時への課題をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健衛生上、生活活動上の視点から衣服の働きをまとめ、多角的にとらえられるようにさせる。</li> <li>・実際に着方を工夫できるよう意欲付けをし、衣服の手入れについて課題をもたせる。</li> </ul>	



〔言語活動の充実〕

設定した言語活動を通して育てたい力

- 衣服のはたらきを多角的にとらえ、目的に合った着方ができるようになる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- ワークシートを活用して自分の考えをもたせ、グループで話し合うことで思考を深めさせる。
- 絵と言葉を対応させることで、衣服に関する言葉(通気性、伸縮性、保温性等)を理解させる。
- 着方を工夫させ、衣服に関する言葉が実感を伴って理解できるようにする。